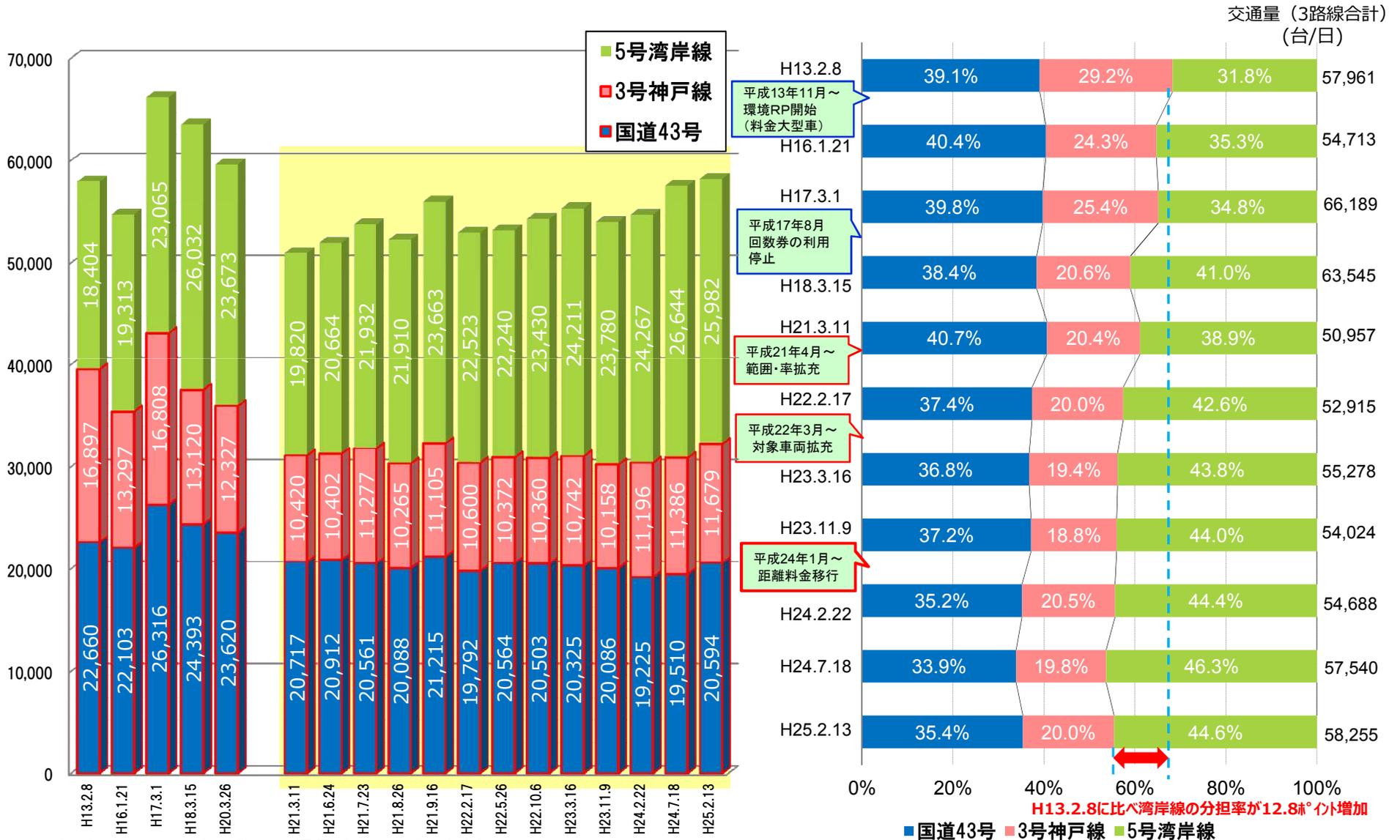


# 尼崎大阪断面のセンサ大型車道路別利用状況

断面交通量 (台/日)

分担率 (%)

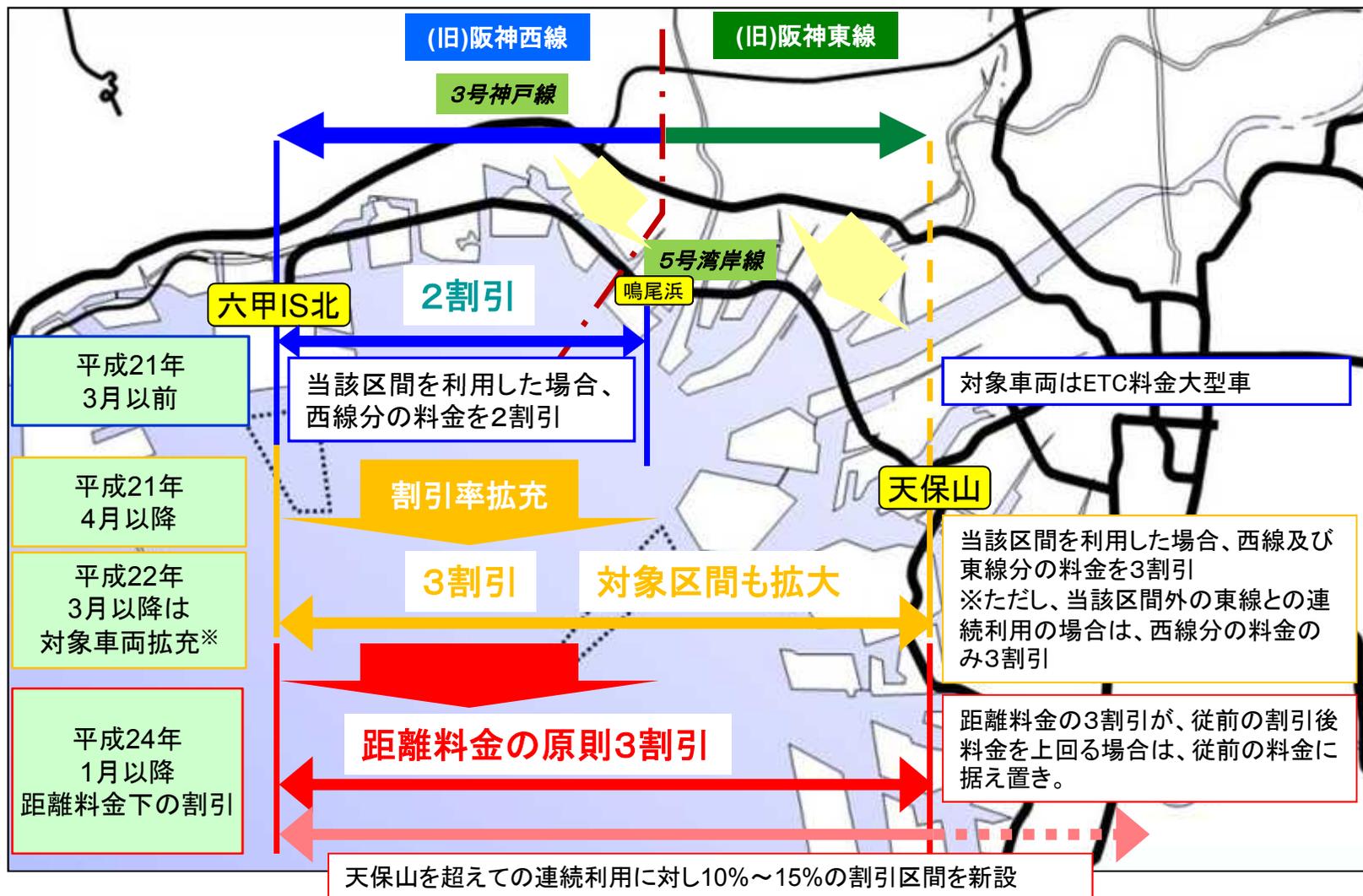


※阪神高速のH20年以降の交通量は、ETCデータを使用

H13.2.8に比べ湾岸線の分担率が12.8%<sup>\*</sup>増加  
 ■国道43号 ■3号神戸線 ■5号湾岸線

# 環境ロードプライシング施策概要

3号神戸線・国道43号沿道地域の気環境改善策である環境ロードプライシングはH13年11月の試行開始以来、段階的にその内容を拡充してきた。またH24年1月には距離料金導入に対応するため、新しい割引体系となった。



※平成22年3月からの対象車両の拡充は、センサス大型車(料金普通車)かつETCコーポレートカード利用で、事前登録を行った車を新たな割引対象としたもの。

# 環境ロードプライシング（対象車両）

- ・環境ロードプライシングは当初（H13）「料金大型車」のみを対象として試行開始。
- ・平成22年3月より対象車両を拡充、センサス大型車（料金普通車）の一部についても対象とした。

		センサス区分			
		小型車		大型車	
		乗用車 (ナンバー3、5、7)	小型貨物車 (ナンバー4、6)	バス (ナンバー2)	普通貨物車等 (ナンバー1、8、9、0)
料金区分	普通車			<div style="border: 2px dashed red; padding: 5px; text-align: center;"> <b>平成22年3月拡充対象</b>                      (ETCコーポレートカード利用の事前登録車)                 </div>  <p>(乗員定員29人以下 かつ車両総重量8t未満)</p>  <p>(最大積載量5t未満 かつ車両総重量8t未満)※</p>	
	大型車	(備考) 注1) 写真は主な車種を示す。 注2) ナンバーとは、ナンバープレート 上段右側の数字(2~3桁)の頭の1桁 例)  頭1桁 注3) ※普通貨物車の括弧書きは、 代表的な区分を示す。	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> <b>従来の割引対象</b> </div>  <p>(乗員定員30人以上 又は車両総重量8t以上)</p>  <p>(最大積載量5t以上 又は車両総重量8t以上)※</p>		

# 距離料金移行による影響

- ・ 環境ロードプライシングについては移行前と同等の割引を維持
- ・ 料金圏撤廃により、環境ロードプライシング対象区間でも料金が低減し、国道43号の大型車が阪神高速に転換

## ■ 環境ロードプライシング割引の料金例(ETC利用の大型車を対象)

【環境ロードプライシング】5号湾岸線(住吉浜～天保山)	移行前: 1,540円 <sup>※1</sup> → 移行後: 1,120円 (30%割引)
【参考】3号神戸線(魚崎～中之島西)	移行前: 2,400円 <sup>※2</sup> → 移行後: 1,600円

※1 阪神西線料金(1,000円)+阪神東線料金(1,400円)  
 -湾岸線連続利用割引(200円)  
 -環境ロードプライシング割引(660円(▲30%))  
 ※2 阪神西線料金(1,000円)+阪神東線料金(1,400円)



【対象データ】  
 阪神高速: ETCセンサス大型車通行実績※  
 国道43号: 実測値(近畿地方整備局)  
 調査日: 移行前 H23.11.9 移行後 H25.2.13  
 ※料金普通車のセンサス大型車で  
 環境ロードプライシング適用外の台数を含む

## ■ 阪神高速と一般道の分担率(大型車を対象)

尼崎西宮断面		
国道43号	3号神戸線	5号湾岸線
H23.11 27% 12,700台/日	25% 11,800台/日	49% 23,400台/日
↓ ▲4%	↓ +1%	↓ +2%
H25.2 23% 11,600台/日	26% 12,800台/日	51% 25,800台/日

尼崎大阪断面		
国道43号	3号神戸線	5号湾岸線
H23.11 37% 20,100台/日	19% 10,200台/日	44% 23,800台/日
↓ ▲2%	↓ +1%	↓ +1%
H25.2 35% 20,600台/日	20% 11,700台/日	45% 26,000台/日